

ニュース・リリース

(日本語抄訳版)



2023年5月16日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

「wire Mexico」：ワイヤー・ケーブル業界における新たな見本市始動

近年、メキシコの重要性はますます高まっており、ワイヤー・ケーブル業界においても主要な成長市場となっています。特にメキシコ国内の自動車・エレクトロニクス・エネルギー産業からのこれら製品に対する需要は拡大しており、新たに投資・建設プロジェクトが始まる場合にもケーブルやワイヤーといった基幹技術は必要とされます。これらの背景を鑑み、メッセ・デュッセルドルフは2024年にメキシコ市場へ参入することを決定し、メキシコで認知度の高い見本市 Expo Manufactura の一部として特別パビリオン「wire Mexico」を設置します。

wire Mexico は2024年1月30日から2月1日、メキシコ北東部ヌエボ・レオン州の州都であるモンテレイの CINTERMEX Centro Internacional de Negocios で開催します。

生産技術・オートメーション・ロボティクスの展示会「Expo Manufactura」は1996年より Tarsus Mexico の主催によりメキシコで毎年開催され、メキシコを代表する製造業の総合見本市です。2023年2月に開催された Expo Manufactura には330社が出展し、3日間にわたり600以上のブランドが紹介されました。26か国から来場した1万5,500名は主に機械メーカー、サプライヤー、金属加工業者、電機・自動車産業の専門家の方々でした。

およそ1億3,000万人の人口を抱え、石油やガスの埋蔵量が多く、加えて金、銀、鉛、亜鉛、銅といった鉱物資源も豊富なメキシコは、とりわけヨーロッパやドイツにとって興味深い投資環境が整っており、米国の延長市場とも捉えられています。また、EU・メキシコ間における経済政策協定により、ここ数年間に渡り貿易が促進されており、EUとメキシコとの間では関税が撤廃されています。

メッセ・デュッセルドルフ最大のポートフォリオであるワイヤー・チューブ・フローテクノロジーのダイレクター、ダニエル・リフィッシュは、「メキシコは、特にワイヤーおよびケーブル産業において、大きな成長の可能性を秘める国際的な拠点です。」と喜びを述べています。また、Tarsus グループ・ラテンアメリカの Paul St. Amour 副社長は次のように述べています。「Expo Manufactura に新たな産業分野を追加できることを嬉しく思います。これにより Expo Manufactura はメキシコ北部の最も重要な製造業見本市であり続けます。また、メッセ・デュッセルドルフの豊富な経験を活かした wire パビリオンは Expo Manufactura にとって完璧な選択肢です。」

より詳細な情報および出展申込書は 2023 年 7 月に公開予定です。

- 本件のニュースリリース（英語オリジナル）は [こちら](#) からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

wire/Tube サテライトイベント：Ms. Petra Hartmann-Bresgen HartmannP@messe-duesseldorf.de

【日本でのお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：秋庭

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp